

第2節 協働

「協働」

～ 地域コミュニティ機能の維持・発揮と 県民の理解促進に向けて ～

【目指す方向】

『地域の活力を高める』

- ⇒ 農業者を中心とした地域のコミュニティ機能の発揮を促進し、農村の振興と多面的機能の維持・発揮に取り組むとともに、担い手の負担軽減と農地集積等の構造改革を後押しします。
- ⇒ 農業農村の有する役割や良好な多面的機能の維持・発揮について、県民の理解を促進し、農村地域の維持発展に努めます。

高める ● 農地維持・資源向上 ～ 地域コミュニティ機能の発揮 ～ 重点取組

◆地域ぐるみの活動促進による地域コミュニティ機能の発揮

- 農業者を中心とした活動組織による農地、水路など地域資源の草刈りや水路の泥上げなどの基礎的保全活動を推進します。
- 地域で取り組む基礎的保全活動や地域資源の質的向上を図るための施設の軽微な補修や植栽を行う活動等を推進し、地域コミュニティ機能の発揮を図ります。
- 地域による水路や農道等の補修、更新など地域資源の長寿命化への取り組みを推進します。
- 活動組織の事務負担軽減を図るため、組織の合併や広域化に向けた取組を推進します。

◆地域特性を活かした中山間地域の活動支援

- 平坦地域と中山間地域との生産コストの格差を補正するため、中山間地域等直接支払制度を推進し、農業生産活動の継続を支援します。
- 中山間地域の強みである多彩な農産物や豊かな自然等を活用した付加価値の高い農業の展開を支援し、多面的機能の維持・発揮を図ります。

数 値 目 標	基準年 (H26)	目標年 (H31)
多面的機能の維持・発揮が図られた農業集落数 (集落) 【重点】	305	478
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積 (ha)	12,945	20,000
中山間地域等直接支払交付面積 (ha)	1,587	1,647

高める ● 地域構想づくり支援 ～ 地域活性化のための基盤づくり ～

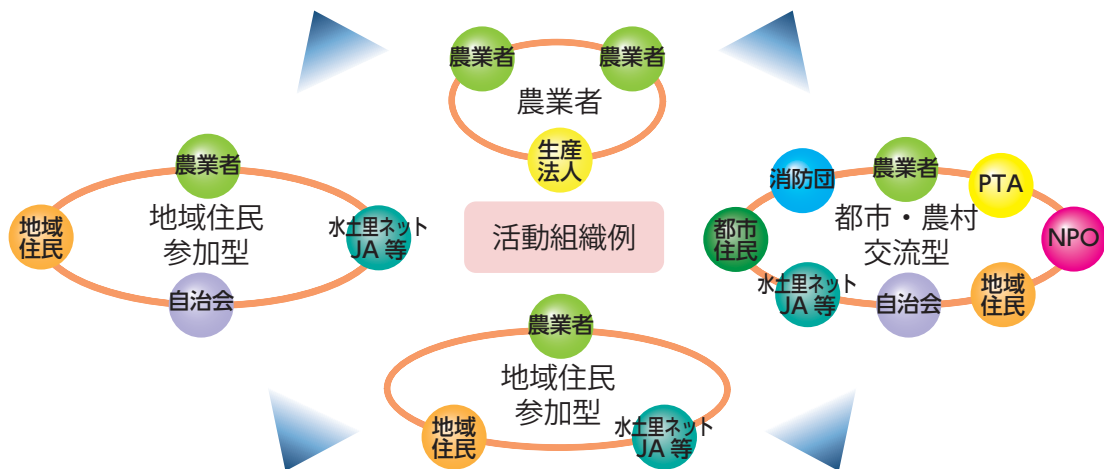
◆ 地域の実情に即した将来像の検討

- 地域の話し合いにより、地域ぐるみで取り組む農地利用集積と、担い手との連携強化への活動を推進します。
- 地域資源保全管理構想策定のための話し合いの場を活用して、地域における課題の把握や地域が描く将来像の検討をモデル的に取り組みます。

数 値 目 標	基準年 (H26)	目標年 (H31)
地域構想づくり支援実施モデル地区数 (地区)	1	5

【多面的機能支払における活動】

農 地 維 持



資 源 向 上 ・ 長 寿 命 化



高める ● 農業農村への理解促進 ～ 円滑な取り組みへの協力 ～

◆ 農業農村及び農業農村整備事業への県民の理解促進

- 農業農村では、産業としての農業を営むだけでなく、食料の安定供給や多面的機能の維持・発揮など、広く県民がこれらの恩恵を享受していることから、農業農村についての理解促進を図ります。
- 社会構造の変化に伴う非農業者の増加や担い手への農地集積が進むことにより、農業農村整備事業における地域の合意形成が困難になってきていることから、農業農村整備事業の役割・効果をPRします。

数 値 目 標	基準年 (H26)	目標年 (H31)
県民への理解促進に向けた広報活動回数 (回/年)	▶▶▶	40

※過去5年間 (H23～27) の平均回数を目標に実施・支援する。

【農業農村の有する多面的機能】

